

5. キャスターひとつで、レイアウト変更も掃除もラクに！

私がオフィスの収納でこだわっていることのひとつが、「キャスター」を付けること。ほんの数センチの小さなキャスターの有無で、レイアウト変えはもちろん、掃除や荷物を受け取る時など、いろんなシーンで使い勝手が格段に上がります。

たとえば、収納に使うラック。私の職場では28台のスチールラックを使っているのですが、そのすべてにオプションで購入したキャスターを取り付けています。その理由は、**キャスターがあれば女性ひとりでも簡単に移動ができるから**。スタッフやものが増え、レイアウトを変える必要が出たとき、キャスターのないラックを持ち上げて移動……となれば、重たい中身を取り出し、複数人で移動させ、また中身を戻し……と大変な労力がかかります。でもキャスター付きのラックなら、中身を乗せたままひとりでも移動が可能に。一度の移動でラックの配置がばっちり決まらなかったときも、もう少し右へ、前へ……と気軽に微調整ができるのも魅力です。

また、大型の収納以外でもキャスター付きのものを**選べばさっと動かして掃除がラクに**。ハンガーラックや鏡、ごみ箱など、これから何かを新しく買い足すときは、ぜひ「キャスター付き」を検討してみてくださいね。

そして、いまあるものを活かす方法として、アイテムそのものにキャスターが付いていなくても、オプションのキャスターを新たに追加する、粘着テープ式のキャスターを取り付ける方法も。取り付けの手間はかかりますが、一度付けてしまえばその後がずっとラクになるので、ものを動かす機会があれば、“ついでに”キャスターを取り付けてみるのもよいかもしれません。また、**キャスター付きの台に乗せるやり方**もおすすです。オフィスの観葉植物もキャスター付きの台に乗せれば、手軽に動かせます。

荷物の下にもキャスター台を

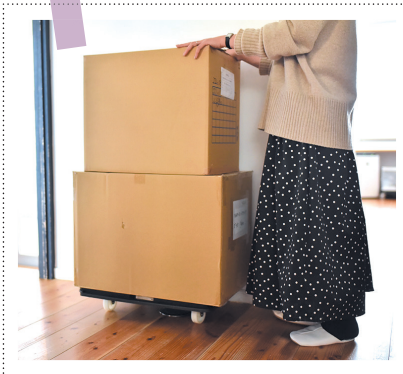
私が主宰するOURHOMEではオンラインショップを運営しているのですが、**段ボールで受け取る大量の荷物も、必ずキャスター台の上に置いています**。段ボールを複数重ねて重くなっても、キャスター台があればスイスイ動く！ 置き場所がきちんと決まっていな荷物でも、後から簡単に動かせるから、とりあえずの仮置きでも困りません。キャスター台は、使わないときに場所を取らないようにスタッキングできるものを選んでいきます。

小さな工夫で 毎日かわる 仕事も気持ちも ラクになる 仕組みづくり

OURHOME 主宰
整理収納アドバイザー Emi



キャスター台に乗せれば、掃除もスムーズに。



仮置きした荷物も簡単に動かすことができます。万が一の際に備えて、キャスターには必ずロックを。

Emi

OURHOME 主宰。法人化し、20数名のスタッフと暮らしの情報発信とオリジナル商品をお届け。ものづくり、レッスン運営、企業向けセミナー開催、音声メディア voicy 配信など幅広く活動中。著書累計56万部。『暮らす働く、もっと明るいほうへ』を3月に出版。
HP: ourhome305.com Instagram: @emi.ourhome

